

CSDDD の概要

EU のコーポレート・サステナビリティ・デューデリジェンス
指令（CSDDD）の人権および環境要件の順守に関する LRQA
の企業支援



LRQA

CSDDD の概要

EU のコーポレート・サステナビリティ・デューデリジェンス指令（CSDDD）は、企業がそのサプライチェーンに伴う環境および人権への影響に関して実施しなければならないデューデリジェンスの必須要件を定めています。CSDDD の枠組みでは、企業は人権および環境デューデリジェンスを実施し、それについて公に報告する必要があります。また、対象となる企業は、企業サステナビリティ報告指令（CSRD）に従って、その報告を行う必要があります。また、企業は、地球温暖化を 1.5℃に抑えることを目的としたパリ協定に事業戦略を適合させるための計画を策定する必要があります。

LRQA は、デューデリジェンス・システムの設計・導入から指令の要件の順守に至るまで、企業を全面的に支援します。

CSDDD 要件の概要



* EiQ がサポートできる分野

指令の範囲

この指令（CSDDD）は2024年7月5日に欧州連合官報（The Official Journal of the European Union）に掲載され、7月25日に発効しました。加盟国は2026年7月26日までにこの指令を国内法に置き換える必要があります。

この指令は、次に挙げた一定の条件を満たす企業に適用されます：

- EU域内の企業で、世界全体の売上高が4億5,000万ユーロ以上、従業員数が1,000人以上の企業
- 売上高が8,000万ユーロ以上、収益が2,250万ユーロ以上のフランチャイズ企業またはライセンス企業
- EU域外の企業で、EU域内で4億5000万ユーロの純売上高を計上した企業

2027年7月26日より、段階的な移行アプローチにより、この規則が企業に適用されます。

CSDDD は 2027 年から適用開始

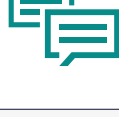
2024	2025	2026	2027	2028	2029
2024年5月 指令が理事会 で正式に承認	加盟国は2年以内に新規 規則を国内法に置き換える 必要あり		2027年より EU域内の企業 > 従業員5,000人 > 世界全体の年間純売上高 15億ユーロ EU域外の企業 > EU域内の年間純売上高 15億ユーロ	2028年より EU域内の企業 > 従業員3,000人 > 世界全体の年間純売上高 9億ユーロ EU域外の企業 > EU域内の年間純売上高 9億ユーロ	2029年より EU域内の企業 > 従業員1,000人 > 世界全体の年間純売上高 4億5,000万ユーロ EU域外の企業 > EU域内の年間純売上高 4億5,000万ユーロ

CSDDD 要件の支援における LRQA と EiQ の活用

LRQA はお客様と連携し、お客様のビジネスを理解した上で、お客様とお客様のサプライチェーンに合わせたソリューションのエコシステムを提供します。また、ESG デューデリジェンス・プロセスのあらゆるステップに対応する商品とサービスを提供しています。

人権・環境デューデリジェンス支援の一環として、LRQA のサプライチェーン・プラットフォーム「EiQ」は、サプライチェーンの可視化と ESG リスク管理を強化します。EiQ は、110 以上の国と地域のサプライチェーンから年間 2 万件以上の実地監査によって得られた独自のデータを用いて、調達地域、商品、個々のサプライヤーに関するリスク分析を実施しています。この綿密な分析は、CSDDD のような規制要件を支援します。EiQ は、LRQA の広範なアドバイザリーサービスと組み合わせることで、データに基づく ESG デューデリジェンスと法令順守を支援します。

このチェックリストは、CSDDD の各デューデリジェンス要件の概要と、それらをサポートする LRQA のサービスについて説明するものです。

CSDDD の要件		アドバイザリーサービス	EiQ ツール／サービス
	デューデリジェンスを会社の方針およびリスク管理システムに組み込む	✓	
	環境および人権に及ぼす実際の、または潜在的な悪影響を特定し、評価する	✓	✓
	環境および人権に及ぼす実際の、または潜在的な悪影響を防止、軽減、是正する	✓	✓
	有意義な利害関係者のエンゲージメントを実施する	✓	
	適切な通知メカニズムおよび苦情処理手順を確立する	✓	✓
	企業のデューデリジェンス方針の有効性をモニタリングする	✓	✓
	パリ協定の目標に沿った気候変動対策計画を策定する	✓	✓
	CSRD に従って公に報告する	✓	✓

EiQ についての詳しい情報はデモをリクエスト →

人権・環境デューデリジェンス（HREDD; Human Rights and Environmental Due Diligence）方針があり、それをすべての関連方針およびリスク管理システムに組み込んでいる



義務

企業は、HREDD をすべての関連方針やリスク管理システムに組み込む必要があります。HREDD 方針は、企業の従業員およびその代表者と事前に協議して策定する必要があります。この方針は、HREDD のアプローチとプロセスを網羅する必要があります。さらに、この方針は少なくとも 1 年おきに、また重要な変更があった場合に更新することが求められます。企業はまた、行動規範を定め、その順守をどのように検証するかを説明する必要があります。

LRQA アドバイザリーサービスのサポート

- 文書レビューや利害関係者のインタビューを通じた、既存の方針およびリスク管理システムと CSDDD 要件間のギャップ分析
- 行動規範の見直し・策定
- 戦略とロードマップの策定
- KPI と有効性基準の開発



実際の、または潜在的な悪影響の特定、評価が完了している



義務

CSDDD は、企業に対し、その「サプライチェーン」における悪影響を特定、評価し、優先順位をつけることを求めています。そのためには、CSDDD の附属書 I および II に記載されているように、人権や環境への実際の、または潜在的な悪影響を評価する必要があります。優先順位付けは、悪影響の重大性と可能性に基づいて行われます。この指令は、企業に対し、全体的な特定作業を実施し、影響の可能性が最も高く、最も重大である一連の活動領域をさらに掘り下げるよう義務づけています。

LRQA のサポート

LRQA のアドバイザリーサービス

- 「サプライチェーン」マッピング
- 影響の特定と優先順位付け - 人権影響評価（HRIA; Human Rights Impact Assessment）、強制労働調査サービスなど
- 重大性評価
- 利害関係者・エンゲージメントの活動

EiQ ソリューション

- ESG リスクレーティング
- セグメンテーション
- Sentinel

EiQ ESG リスクレーティング

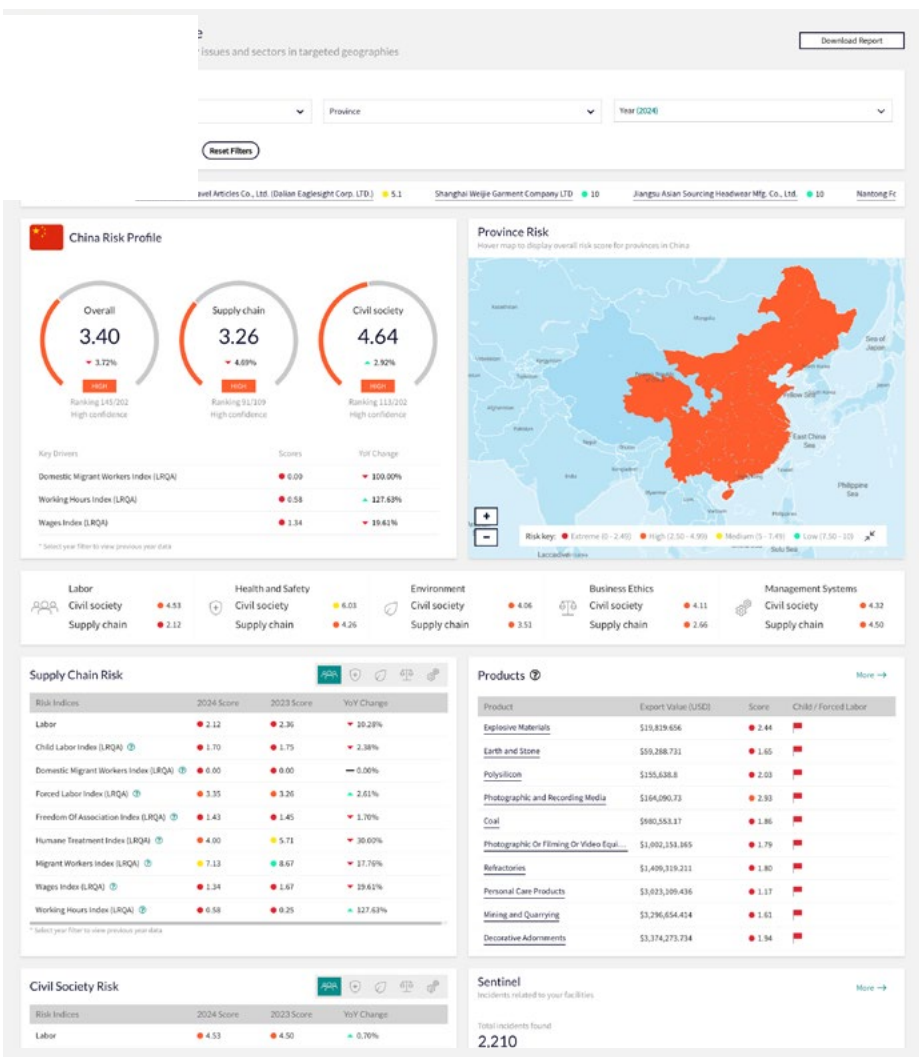
EiQ は、100 以上の地域と 350 以上の製品・サービスについて、さまざまな ESG 課題分野を網羅する地理的および商品レベルのリスクレーティングを提供しています。リスクスコアは、関連する潜在的なリスクを反映し、データと分析に基づくリスクの可能性を含んでいます。リスクレーティングは、お客様のサプライチェーンにおける潜在的または実際の人権リスクの評価をサポートします。

地理的リスク評価は次の 2 つの指標を対象としています：

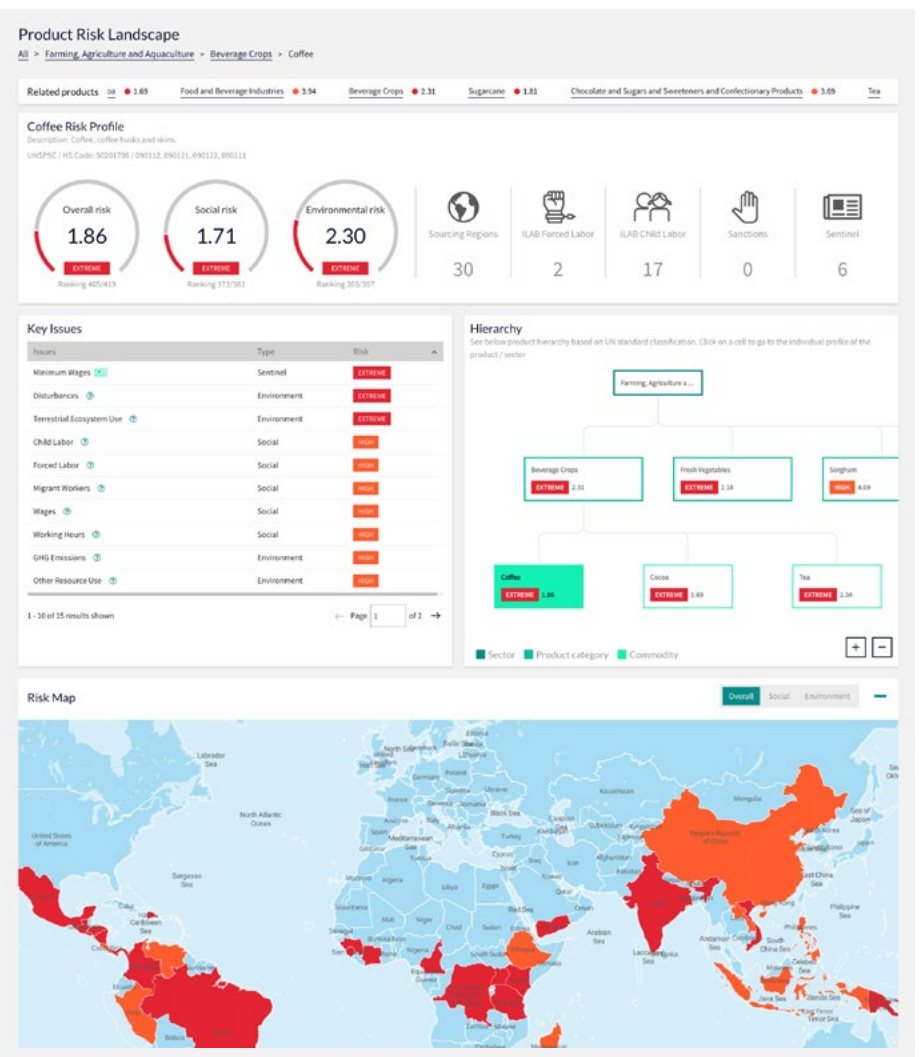
市民社会：公開データに基づく

サプライチェーン：年間 2 万件以上の社会監査の結果に基づく

国別リスク



製品リスク



LRQA は、EiQ を使用して、特定の商品とその生産に関連するリスクだけでなく、調達国の ESG に関連する潜在的なリスクも実施しています。

EiQ セグメンテーション

LRQA のセグメント化アプローチでは、内在する調達リスクと事業拡大の洞察を重ね合わせ、サプライチェーンのどのセグメントが事業リスクを管理し、影響を推進する最大の機会を提供できるかを判断します。

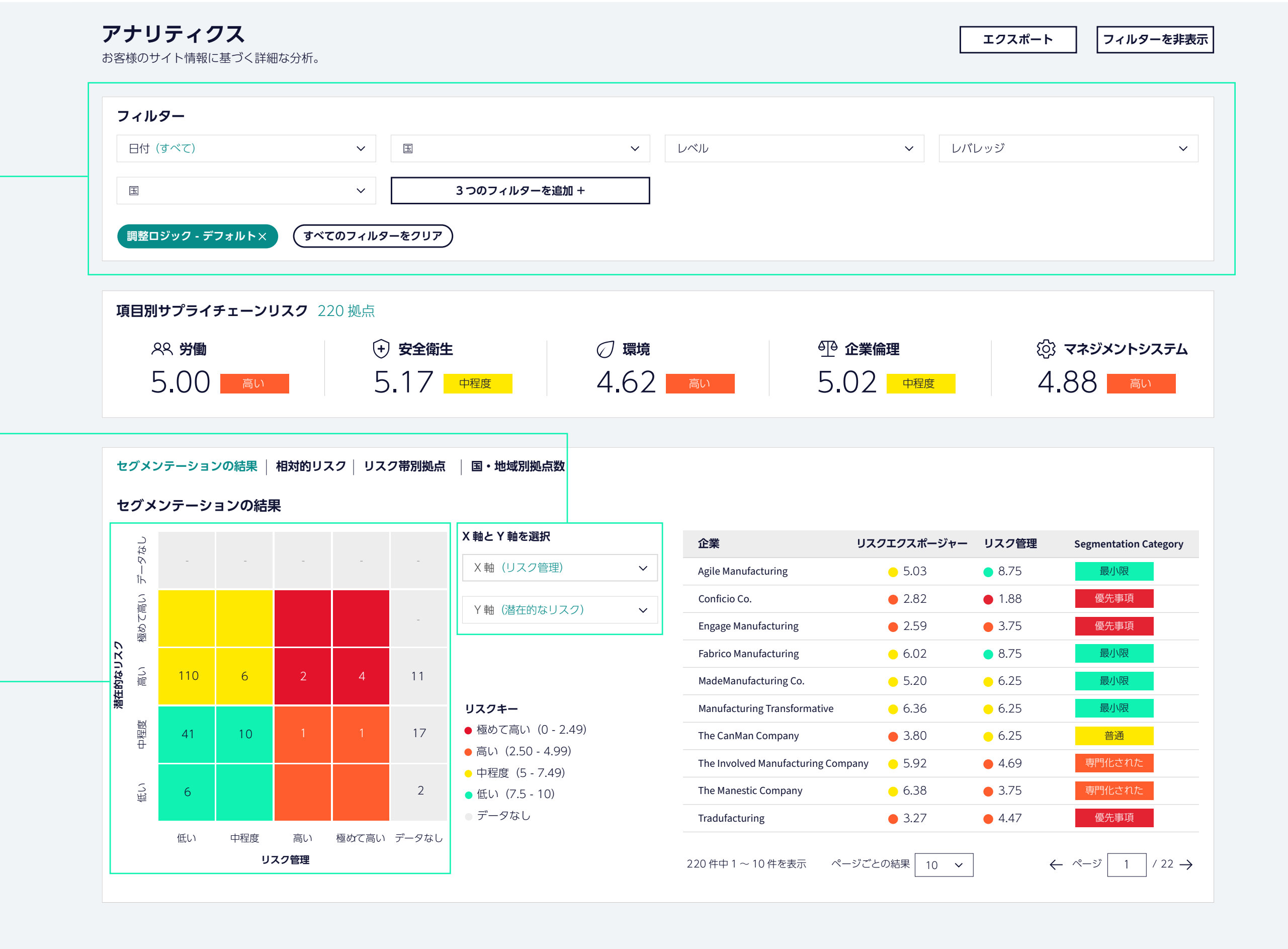
状況に合わせた介入を支援するためのサプライチェーン・セグメンテーション（優先順位マッピング）が作成されます。お客様は、フィルター、調整可能なパラメーター、重要度を調整可能なカテゴリー、カスタマイズ可能な指標を使用して、優先順位に合わせてセグメンテーションを調整することができます。

フィルターを活用して、特定の国、部門、製品など、関心のある分野を絞り込む。

カスタマイズ可能な軸パラメーターにより、独自のセグメンテーション・モデルを設計可。

定義されたパラメーター（潜在的なリスクやリスク管理など）に基づくセグメンテーションの結果。

LRQA は、このモデルを用いて、固有の潜在的なリスクと企業のプログラムにとっての重要度に基づいて、サプライチェーンの分野をセグメント化します。



EiQ Sentinel

Sentinel は、EiQ の有害メディアスキャンツールです。この機械学習アルゴリズムは、サプライヤーに関連する ESG インシデントを検出するために、様々なメディアチャンネルを通じ、30 万以上のグローバルサプライヤーについて毎月スキャンを実施しています。

お客様は、カスタマイズ可能なフィルターを使用して、ご自身のプログラムに関連する検索結果を確認し、特定の課題やリスクレベルに焦点を当てることもできます。

検索結果のリストは、さらなる分析、社内共有、フォローアップアクションのためにデータを抽出することができます。

Sentinel のデータは ESG リスク評価に統合され、従来のデューデリジェンス活動データの制約を補完します。Sentinel は、火災事故、ハラスメントや虐待、強制労働、違反排出や放出などの問題をほぼリアルタイムで特定し、LRQA の ESG リスクデータの堅牢性を大幅に強化しています。

検索結果の例

従来のデューデリジェンス活動では見つけることが困難であった検索結果を、ほぼリアルタイムで特定。

Tags

Forced Labor

Name	Shinkong Synthetic Fibers Corporation
Country	Taiwan
Date	Feb 13, 2023
Analyst Comment	Vietnamese workers paid recruitment fees up to €6350, as well as other issues including fines, deductions, retention of ID papers, and tight curfews.

Migrant workers squeezed in Taiwan

What are Walmart, L'Oreal, Bosch and Continental doing about debt bondage risks in Taiwanese supply chains?

BY PETER BENGTSSEN, 14 FEBRUARY 2023

Tags

Other Wages and Benefits

Name	Suvidha Appliances
Country	India
Date	Mar 1, 2023
Analyst Comment	Suvidha appliances accused of not paying salary, deducting esi and pf. Workers protest at company gate in baddi.

बढ़ी में कंपनी गेट पर कामगारों का प्रदर्शन: सुविधा एपलाइसिस पर वेतन न देने का आरोप, ESI व PF काटने की भी मांग

नालागढ़ 5 महीने पहले

f

🐦

🔗

Tags

Fire Incidents and Other Fatal Accidents

Name	Formosa Plastics Corp
Country	United States
Date	Jul 15, 2023
Analyst Comment	Contract worker dies in accident at formosa plastics corporation in point comfort, Texas.

Contract company scaffold inspector dies in accident Formosa Plastics Corp.

James Muñoz · 25 News Now Jul 16, 2023 Updated Jul 17, 2023

Formosa plant

Geno Perez

Name of Formosa contractor killed on the job Friday released

POINT COMFORT, Texas - The Calhoun County Sheriff's Office has released the name of a scaffold inspector killed on the job July 14 at Formosa.

POINT COMFORT, Texas - 25 News Now has learned a young contract worker died at Formosa Plastics Corporation this morning. Workers reported having a safety stand down meeting to discuss an accident. They also learned of a fatality in new construction at the Point Comfort location. Early reports indicate the worker who died was only on his second day on the job and fell 40 feet from a scaffold to his death. It's unclear if the worker had an experienced journeyman with him. It's unclear if he was tied down with fall protection or if it failed.

LRQA | CSDDD の概要 | 9

人権影響評価（HRIA）

人権影響評価（HRIA; Human Rights Impact Assessments）とは、綿密なリスク分析であり、潜在的なリスクを特定し、その結果に基づいて企業がより効果的に資源を配分する方法を決定することを可能にします。HRIA は標準的なコンプライアンス・アプローチとは異なり、サプライチェーンにおけるリスクの高い分野に特化したものです。

LRQA は、世界中の企業が特定の調達国や商品について HRIA を実施し、人権リスクを特定、管理することを支援しております。LRQA の HRIA 手法は、人権に関する LRQA の技術的専門知識、サプライチェーンに関する「現場」の知識、EiQ から得られる独自のデータ分析に基づいています。

LRQA は、ビジネスのニーズに応じて、また利害関係者との連携の度合いに応じて、HRIA 向けの段階的なアプローチを提供しています。

HRIA アプローチ

利害関係者の期待との 整合性	限定的連携 ← → 完全な連携		
	重点分野	お客様が選択したターゲット商品・製品および地域	お客様が選択したターゲット商品・製品および地域
重点分野	お客様が選択したターゲット商品・製品および地域	お客様が選択したターゲット商品・製品および地域	LRQA は、お客様の調達慣行やサプライチェーンリスクに沿った商品・製品および地域の選択をサポート
インプット	調査には、デスクトップ分析、利害関係者のインタビュー、LRQA の EiQ.ai リスクアナリティクスによる分析が含まれます	調査には、デスクトップ分析、利害関係者のインタビュー、LRQA の EiQ.ai リスクアナリティクスによる分析が含まれます	調査には、デスクトップリサーチ、利害関係者のインタビュー、LRQA の EiQ.ai リスク分析による分析、サプライヤーの拠点訪問（お客様と LRQA が選定した最大 6 拠点）、コミュニティ・エンゲージメントが含まれる
アウトプット	- 機密保持の下で作成された社内向け報告書 (約 10 ～ 15 ページ) - 行動計画や提言はなし	- 調査結果と顕著性アセスメントを検討するワークショップ - 社内報告書 (約 25 ～ 40 ページ) はお客様による外部向けに作成可能 - 全体的な行動計画と提言	- ワークショップで調査結果と顕著性評価を検討 - 外部向け報告書 (約 25 ～ 40 ページ)、最大 3 回のレビュー - 詳細な行動計画と提言

人権影響評価（HRIA）

180 カ国以上で活動する LRQA の HRIA は、サプライチェーンの調査員が代表的な現場で時間を費やし、強制労働、ハラスメント、危険な労働環境、児童労働、性的虐待やハラスメントなど、潜在的なリスクを特定するために設計された LRQA のデータ駆動型人権調査ツール一式を活用しています。

HRIA をサポートするツール

現場ツール



人権影響評価ツール

現場での評価と労働者の面接を含む。調査員の定性的所見を記録するための説明的補足を追加。



労働リスク調査

国際労働機関（ILO）の基準に従って、各拠点で働く労働者を調査し、強制労働の指標を分析。



コミュニティ調査とフォーカスグループ討論ツール

対象の産業が人権に与える潜在的な影響について、他の利害関係者の視点を取り入れるため、拠点に最も近い町で使用。

状況に応じた調査



利害関係者のインタビュー

対象の産業におけるビジネスパートナー、市民社会、研究機関、認証機関に対して実施。また、地元の政府関係者、地域住民、労働者、現場の管理者などとの非公式なインタビューも実施可能。



デスクトップリサーチ

政府、国際機関、業界団体、市民社会、研究機関によって定義された、国内におけるより広範な人権への影響を三角測量し、理解するために活用。

強制労働調査

LRQA はまた、サプライチェーンにおける強制労働事案の特定、評価、是正において企業を支援する、高度に専門化されたソリューションとして強制労働調査（FLI）を実施しています。調査は、国際労働機関（ILO）の11の「強制労働指標」を参考に行われます。

LRQA は、コンサルティングおよび評価能力と独自の従業員エンゲージメントツールを活用し、現場でのデータと洞察の収集、サプライヤーの強制労働リスクの評価、そして悪影響が認められた場合は是正プログラムの設計を行っています。LRQA の専門家には元米国調査官も含まれ、その専門的な経験により、コンプライアンスの準備や政府による制裁・取締りへの対応について比類ない分析を有しています。

LRQA の FLI は、米国税関・国境取締局（CBP）を含む世界の規制当局から信頼され、受け入れられるよう設計され、かつ、外部の利害関係者とも共有可能である堅牢な調査報告書と改善計画を作成します。

ILO の強制労働指標

- | | |
|-------------|-------------------|
| 1. 脆弱性の悪用 | 7. 身分証明書の保持 |
| 2. 不正行為 | 8. 賃金の差し止め |
| 3. 移動の制限 | 9. 債務による拘束 |
| 4. 孤立 | 10. 虐待的な労働および生活環境 |
| 5. 身体的・性的暴力 | 11. 過剰な時間外労働 |
| 6. 脅迫および威嚇 | |

デューデリジェンス・チェックリスト：
コーポレート・サステナビリティ・デューデリジェンス指令（CSDDD）

潜在的および実際の悪影響を防止し、 軽減している



義務

特定された影響に基づき、企業は環境・人権への潜在的な影響を防止、軽減する必要があります。実際の影響を直ちになくすることができない場合、企業はその程度を最小限に抑えることが求められます。適切な対策では、その影響が企業単独によるものなのか、子会社や取引先との共同によるものなのか、取引先のみによるものなのか、また、企業が取引先に影響を与えることができるのかを考慮する必要があります。

LRQA のサポート

LRQA のアドバイザリーサービス

- 潜在的な悪影響を防止、軽減するためのプログラム策定を支援します。このプログラムには、例えば以下のようなものが含まれます：
是正処置計画（CAP）の管理、対面でのトレーニング、具体的な影響を深く掘り下げて行動計画を考案、購買方針の見直しと適応等

EiQ ソリューション

- デジタルラーニング
- 是正処置計画（CAP）の管理
- ERSА アセスメント
- Sentinel

デジタルトレーニング・コースによるリスク予防

LRQA の包括的なデジタルラーニング・プログラムは、サプライチェーンのリスク予防を支援します。LRQA のデジタルラーニング・サービスは、サプライヤーがビジネス上のベストプラクティスを実践できるよう支援し、サプライチェーンの ESG に関するさまざまなトピックに関するトレーニングコースを現地語で提供しています。

コースライブラリー

- 様々な言語で提供される 70 以上のコース
- 学習計画
- コンテンツホスティング
- PDF 資料
- 聴講者カタログとトピックフィルター

管理と報告

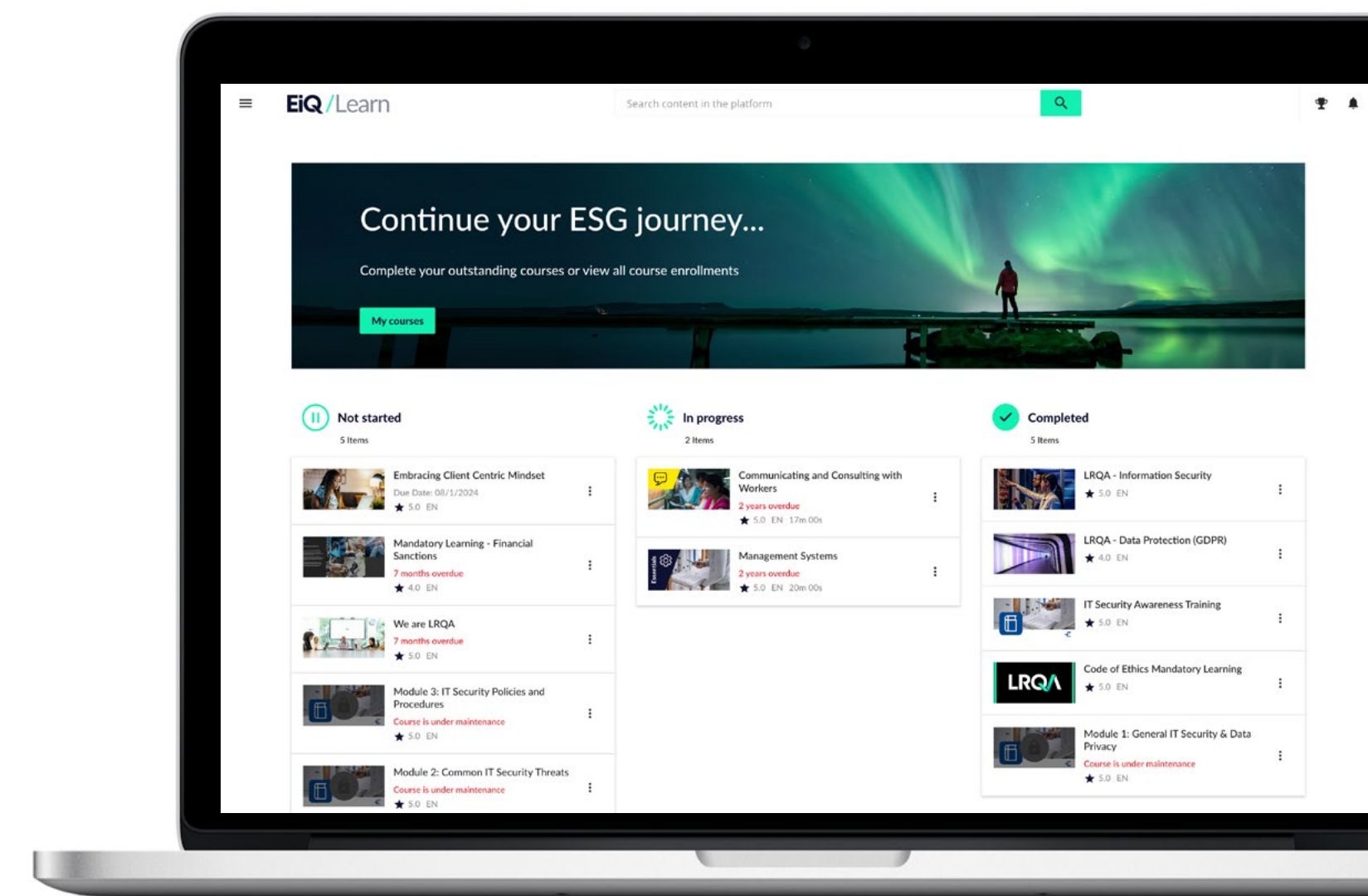
- パワーユーザーと学習アカウント
- 管理機能とレポート
- メール通知
- 自己登録
- ユーザーブランチ
- ユーザープロファイルのフィールド
- 聴講者カタログとトピックフィルター

小テストとアンケート

- フィードバック付きのコース小テスト
- 学習計画の事前・事後評価
- ユーザーフィードバックアンケート
- カスタム化されたアンケート

評価とサポート

- 15 のプラットフォーム上の言語
- 中国を含む世界各地からアクセス可能
- EiQ Learn Connect ニュースレター
- お客様とユーザーへの継続的なサポート

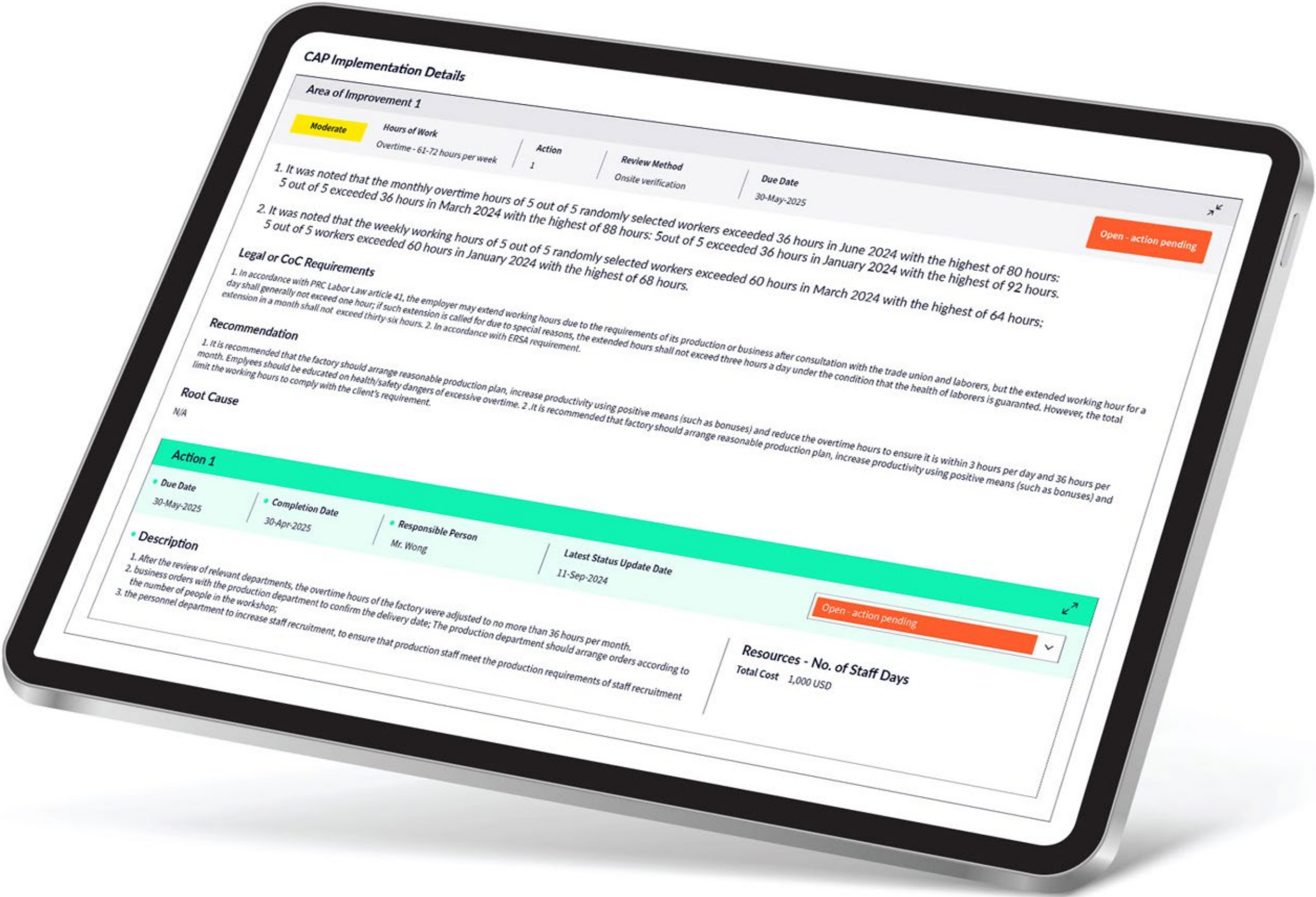


是正処置計画（CAP）

CAP とは、特定の審査で発見された不適合、問題、欠陥に対応する是正処置を策定、実施、追跡、終結するプロセスを指します。

LRQA は、審査中に特定された不適合に対処するための CAP を作成する拠点を支援します。

企業は EiQ を通じて、どの拠点が CAP を実施しているか、また拠点の計画状況を管理することができます。これにより、継続的なモニタリングと拠点の改善が促進されます。



ERSA 監査基準

ERSA は LRQA の監査基準であり、拠点のパフォーマンスを評価し、補足的なデータポイントを統合して、拠点のリスクとパフォーマンスに関するより詳細な情報を提供します。ERSA は国際規格に照らしてマッピングされ、EiQ での統合報告が可能です。

ERSA 監査チェックリストには 300 以上のチェックポイントがあり、拠点は A（最高評価）から D（最低評価）で評価されます。拠点において致命的な違反が見つかった場合は D 評価となります。この手法により、投資家や企業はリスクレベルに基づいてサプライヤーを特定し、ベンチマークすることが可能となり、リスクの積極的なモニタリングとサプライチェーンの変革が促進されます。ERSA は、労働者意識のデータを統合し、EiQ のリスクエクスポージャー・データと監査結果データをまとめて、全体的なリスク状況を提供します。社会監査は、サプライチェーンの ESG リスクの予防と軽減を支援します。

ERSA 責任ある調達のアセスメント報告書（現地）

ERSA

責任ある調達

Excellent Apparel Co., Ltd.

サービス提供会社：ELEVATE Global Limited.
報告書番号：EVT-CN-CE-123456
アセスメントタイプ：初回
スケジュールタイプ：事前通知あり
評価者：デビッド・リン
アセスメント実施日：2020 年 10 月 19 日

LRQA

報告概要

拠点情報

中国

国 / 地域

Excellent Apparel Co., Ltd.

拠点名

アパレル、靴、繊維

セクター（一次）

247

従業員総数

40,000

平均生産数 / 週

監査概要

スコア
33 / 100

ERSA
Responsible Sourcing

D

ゼロ・トレランス 1

致命的 1

重大 2

普通 5

軽微 1

調査結果
(不適合件数) 合計
10

主要労働力統計

国内移民労働者	232
外国人移民労働者	0
労働者の使用言語	標準中国語
少年労働者	0
人材派遣会社の使用	あり

パフォーマンス詳細

リスクスコア

極めて高いリスク

高リスク

中リスク

低リスク

項目	調査結果数 (不適合の件数)	小計	リスク管理 (監査スコア)	リスク管理 (労働者意識)	潜在的なリスク (**EiQ サプライチェーン 地理的リスクレーティング)
労働	1 1 1	3	6.40	9.22	3.23
安全衛生	1 3	4	6.00	9.75	1.98
環境	0	0	10.00	9.54	4.20
企業倫理	1	1	2.49	N/A	2.78
マネジメントシステム	0	0	10.00	7.59	3.21
アドオン 外国人移民労働者	1 2 5 1	2	6.00	N/A	3.21
全体	1 1 2 5 1	10	赤 (D)	8.96	高い

ベンチマーキング

*** グレード分布
(中国)

19%

15%

51%

16%

D

C

B

A

拠点リスクマトリックス

EiQ サプライチェーン地理的リスクレーティング

低い

中程度

高い

不十分
赤 (D)

普通
橙 (C)

十分
黄 (B)

堅牢
緑 (A)

リスク管理 (監査スコア)

労働者意識は、監査の一環として実施された匿名の労働者アンケートに基づいています。これは、評価された側面に
関する労働者のフィードバックの概要を提供し、さまざまな
レベルの利害関係者が優先度の高い改善分野や追加支援
が必要な主要トピックを効果的に特定するのを支援するこ
とを目的としています。「該当なし」と表示されている場合
は、労働者意識調査が実施されなかったことを意味します。

** EiQ サプライチェーン地理的リスクレーティングは、サプ
ライチェーンに内在するリスクに関する分析を提供します。
これは、公開データと、100 以上の国・地域のサプライ
チェーンにおける年間 3 万日以上の現場経験から作成され
た LRQA 監査データの集計に基づく、国・地域に関連する
リスクに基づいています。

*** ベンチマークデータは、世界各地で実施された標準的な
ERSA 監査を基にしたものに基づいています。これは、重
大な問題の評価、同等性評価、または自己評価アンケート
(SAQ) サービスからのデータは含みません。

LRQA

ERSA 責任ある調達の監査報告書（現地評価） | 2

LRQA | CSDDD の概要 | 15

LRQA

実際の悪影響を是正した、 または是正中である



義務

企業が実際に悪影響を引き起こした、または共同で引き起こした場合、CSDDD は企業に是正を義務付けています。その影響が取引先に起因している場合、企業は自主的な是正処置を提供し、その影響力を駆使して取引先にも是正処置を提供するよう促すことができます。

LRQA のサポート

LRQA のアドバイザリーサービス

- 能力開発
- 調査および根本原因の分析
- 労働者の苦情処理メカニズム
- 拠点の現場改革・変革支援

EiQ ソリューション

- 是正処置計画（CAP）
- セグメンテーション

労働者の苦情処理メカニズムがリスク改善を支援

LRQA の苦情処理メカニズムは、10 以上の地域で 200 万人以上の労働者に適用されており、業界のベストプラクティスを基に、国連の指導原則（UNGPs; United Nations Guiding Principles）の有効性基準に沿った是正手順が定められています。LRQA は、事業を展開する各国において、地元に根ざし、信頼されている NATO 標準化事務所（NSO）と提携し、受益者やサプライチェーンのパートナーの意識と信頼を高めています。LRQA のアプローチと信頼できるメカニズムは、労働者から伝えられた問題に対する効果的な是正処置が提供されたことを確認するため、権利保有者にフォローアップを提供することで、複雑な苦情の解決を支援します。

LRQA の苦情処理メカニズムは以下を提供します：

- フリーダイヤル、SNS、ショートメッセージ、インスタントメッセージ、ウェブフォーム、アプリなど、マルチチャネルでのサポート。インターネット、データ通信、スマートフォンを持っていない、またはアプリを信用していない労働者への対応が可能
- 労働者から信頼され、情報を収集し、改善をサポートする 15 カ国語以上で対応のライブオペレーター
- 苦情に関するデータを拠点レベルまで追跡、モニタリング、報告できるデジタル事案管理プラットフォーム
- 苦情処理メカニズムに対する労働者の意識と信頼を高め、採用を促進するための現場研修の全面的サポート
- 強制労働、児童労働、移民労働者の権利、差別、その他の持続可能性に関する問題を含む複雑な問題を是正するための専門家による支援

苦情処理支援には以下が含まれます：

	強制労働調査
	エンド・ツー・エンドの責任ある採用プログラム
	雇用手数料の調査と改善プログラム
	サプライヤーのトレーニングと是正処置計画（CAP）
	監査と労働者調査

LRQA は、世界中で 1 万 5,000 人以上の労働者に対し、総額 3,900 万米ドルを超える雇用手数料の払い戻しを支援してきました。

EiQ セグメンテーション：改善努力のためのプログラム設計例

EiQ および労働者苦情処理メカニズムを利用したサプライヤーの是正処置への取り組みと改善努力の結果とステータスをモニタリングします。

SAQ または監査				是正				
セグメント	保証ツール	結果	行動	自主管理 CAP	CAP サポート	デジタルラーニング	サプライヤー エンゲージメント	苦情処理メカニズム
優先事項	独自のフルスコープ・ アセスメント	A	隔年監査	✓		✓		✓
		B	年次監査		✓	✓		✓
		C	フォローアップ監査		✓	✓		✓
		D	事業停止と再監査の可能性			✓	✓	
普通	重大問題アセスメント	A B C	隔年／年次の CIA 監査		✓	✓		
		D	事業停止と再監査の可能性			✓	✓	
専門化 された	専門監査 + EQ / SAQ	A B C	年間 EQ + SAQ		✓			✓
		D	CIA またはフルスコープ・アセスメント				✓	✓
最小限	EQ / SAQ	A B C	年間 EQ + SAQ		✓			
		D	CIA またはフルスコープ・アセスメント				✓	

有意義な利害関係者の エンゲージメントを実施した



義務

企業は、労働者、労働者代表、市民社会、その他企業の権利や利益に影響を及ぼす可能性のある人々との利害関係者・エンゲージメントを実施することが期待されています。利害関係者との協議は、デューデリジェンス・プロセスの以下の段階にわたって必要となります。

- a. 悪影響を特定、評価し、優先順位をつける段階
- b. 予防および是正処置計画を策定し、企業との関係の終了または停止を決定する段階
- c. 悪影響を是正するための適切な措置を採用する段階
- d. 必要に応じて、モニタリングのための定性的・定量的指標を作成する段階

LRQA のサポート

LRQA のアドバイザリーサービス

- 能力開発
- 利害関係者の特定とマッピング
- すべての関連行動にわたる利害関係者・エンゲージメントの計画
- 社内外の利害関係者のエンゲージメント
- 労働者意識調査 / 従業員エンゲージメント



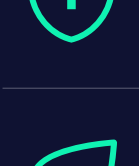
労働者調査は利害関係者のエンゲージメントを支援します

労働者からのフィードバックは、企業がパフォーマンスを向上させ、リスクを軽減するための貴重な分析に直接貢献するものです。LRQA のフォーカス調査ツールは、労働者の経験についてより深い分析を提供することにより、労働者のエンゲージメントと幸福度を評価するように設計されています。また、労働者が職場の改善点を特定するための独立したメカニズムとしても機能します。

LRQA 設計のフォーカス調査

-  **労働者意識調査**
(ほとんどの署名付き調査は ERSa 監査と統合可能)
-  **労働リスク調査**
(ILO の 11 の強制労働指標に基づく設計)
-  **苦情処理メカニズム調査**
(UNGP の 8 つの GM 有効性基準項目に基づく設計)
-  **重大問題調査**
(ERSa の 10 の重大コンプライアンス違反カテゴリーに基づく設計)

調査で対象とする 5 大テーマ

-  **労働**
-  **安全衛生**
-  **環境**
-  **企業倫理**
-  **マネジメントシステム**

労働者調査は以下を推進します：

- 透明性とコンプライアンス**
貴重なフィードバックを収集する強力なツールとして機能し、規制、倫理基準、法的要件の順守を確保するとともに、組織内の透明性、信頼、連携を促進します。
- 拡張可能な職場に関する分析**
大規模なデータ収集を可能にし、チーム全体の傾向と懸念事項を特定し、戦略的な意思決定に必要な情報を提供し、組織の有効性を改善するための的を絞った介入を促進します。
- 生産性と安定性**
パフォーマンスの推進要因を特定し、懸念事項に積極的に対処し、離職率を下げ、労働者の満足度とエンゲージメントを高める安定した職場環境を促進することで、生産性を最適化します。

デューデリジェンス・チェックリスト：
コーポレート・サステナビリティ・デューデリジェンス指令（CSDDD）

通知メカニズムおよび 苦情処理手順を確立している



義務

企業は、影響を受ける人々、労働組合、市民社会組織が、悪影響に関する苦情を申し立てられるようにする必要があります。また、企業は、直接的な影響を受けていない人々が、サプライチェーンにおける影響に関する情報を企業に提供できるような、通知メカニズムを設けることも求められています。企業は、一般に公開され、アクセス可能で、予測可能かつ透明性のある苦情処理手順を確立する必要があります。この義務は、協力的な苦情処理手順を通じて果たすことが可能です。

LRQA のサポート

LRQA のアドバイザリーサービス

- LRQA 苦情処理ヘルプラインおよびメカニズム
- 苦情処理手順、プロトコル、標準業務手順書（SOP; Standard Operating Procedure）の評価、ベンチマーク、または設定
- 苦情処理メカニズムの管理方法と事案の調査方法に関する研修の実施

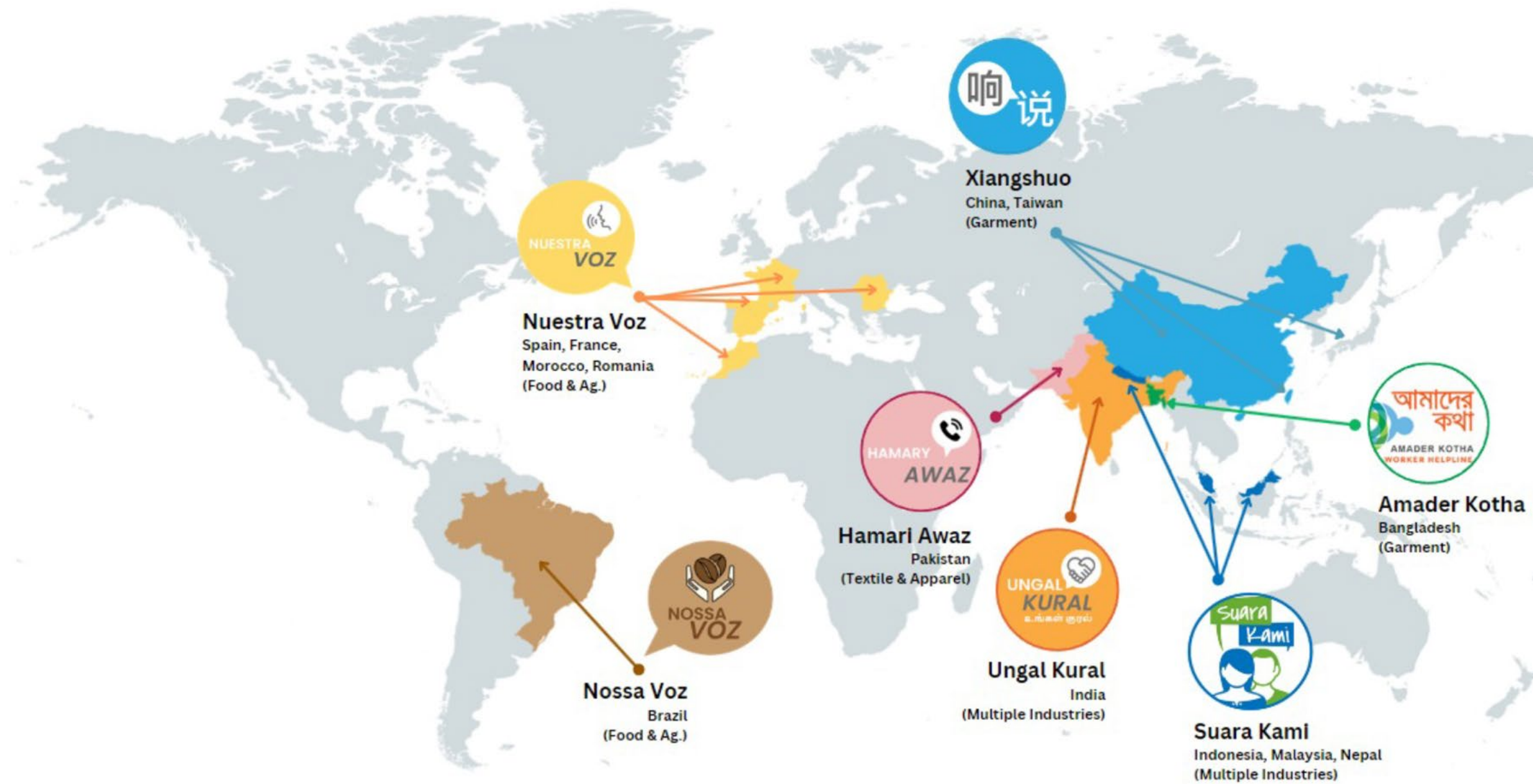
LRQA の苦情処理チャネルは少なくとも 10 の調達地域で運営されており、数百万人の労働者を網羅しています。

LRQA は、世界で最も成功している業界レベルの労働者ヘルプラインと苦情処理メカニズムの一部を運営しています

1,800 社以上
のサプライヤー

月間 3,000 件以上
の電話相談

39
ブランドが登録



LRQA は労働者中心の苦情処理メカニズムを、10 以上の地域で運営しており、200 万人以上の労働者をカバーしています。

デューデリジェンス・チェックリスト：
コーポレート・サステナビリティ・デューデリジェンス指令（CSDDD）

デューデリジェンス方針および 対策の有効性を監視している



義務

企業は、少なくとも年 1 回、HREDD プロセスの実施状況を評価し、適切性と有効性を監視するために、自社の業務と対策、子会社やサプライチェーンの評価を実施する必要があります。

LRQA のサポート

LRQA のアドバイザリーサービス

- KPI の設定と追跡
- プロセスのレビュー

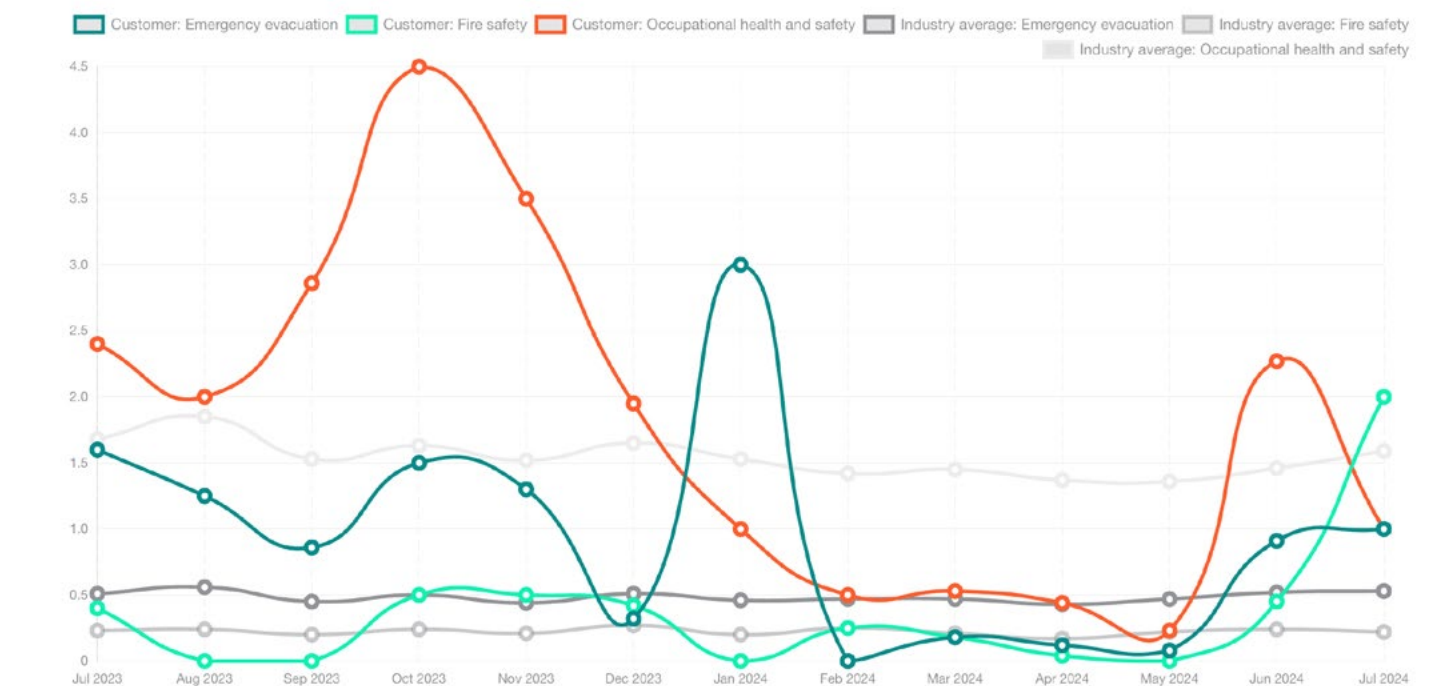
EiQ ソリューション

- サプライチェーンのモニタリング
- セグメンテーション
- プログラムのベンチマーキング

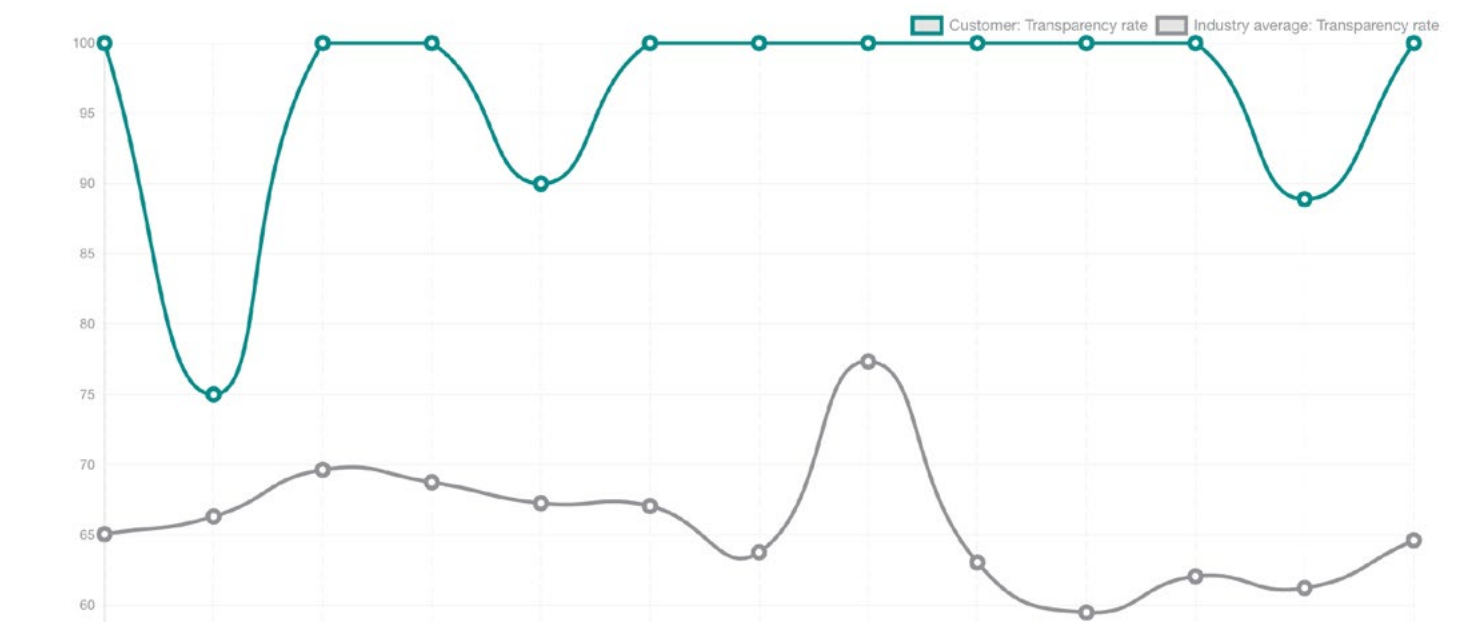
EiQ は、次のような分野における
業界平均や国別平均のベンチマー
クをお客様に提供します：

- 監査中によく見られる不適合
- 主要な定量的指標には以下が含まれます：
 - 透明度
 - 平均手取り月給
 - 正しく支払われた労働者の平均割合
 - 平均／最長週労働時間
 - 平均連続勤務日数
- 前年比

監査中によく見られる違反



透明度

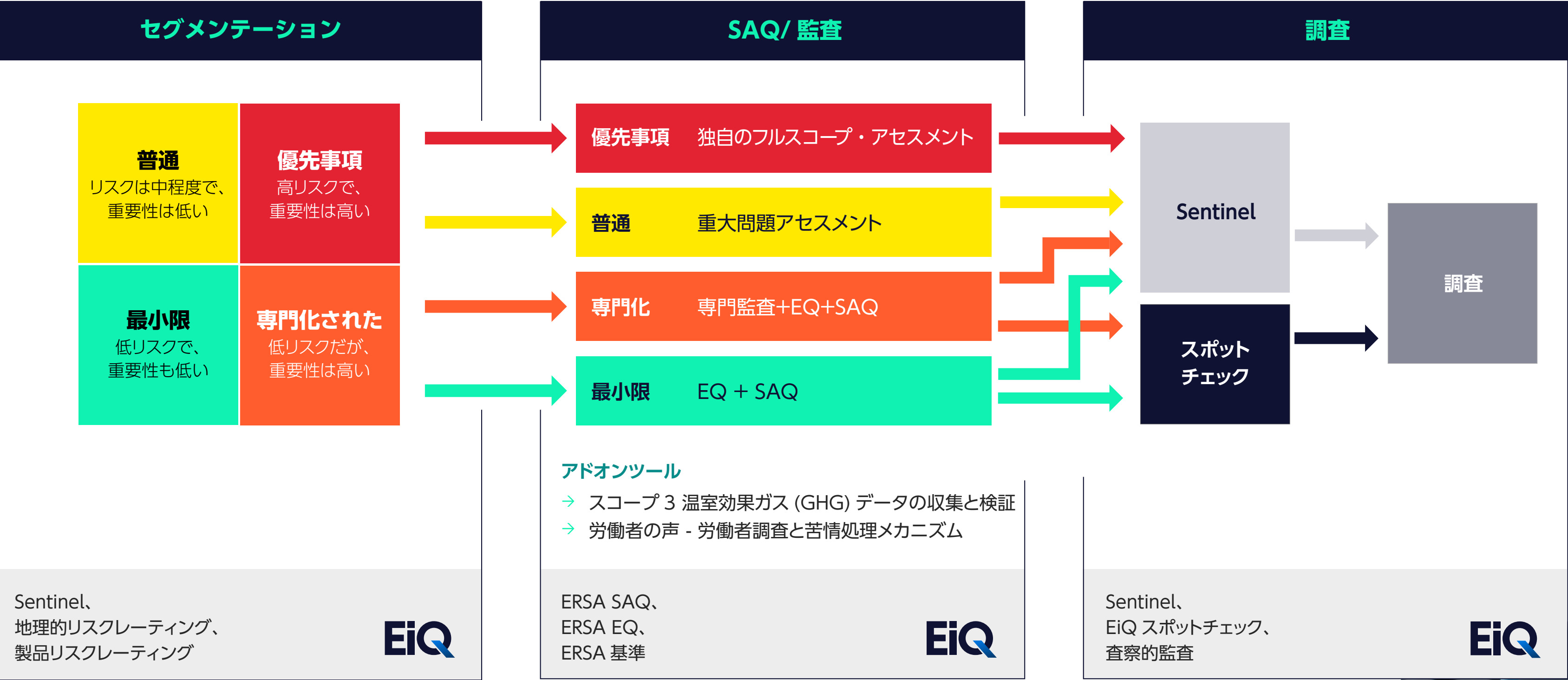


セグメンテーション・ワークフロー：サプライヤーのモニタリングを可能に

セグメンテーションにより、サプライヤーのパフォーマンス、リスクデータ、是正処置の取り組み状況を継続的にモニタリングできるようになります。

プログラム設計

サプライヤーの監視



気候変動移行計画を採択した



義務

企業は、パリ協定の目標に沿った気候変動移行計画を、CSRD の義務に沿って採用する必要があります。

LRQA のサポート

LRQA のアドバイザリーサービス

- 能力開発
- 気候変動移行計画の策定
- 炭素会計の実施

LRQA のアドバイザリーサービスは、気候変動移行計画の策定、気候変動に関する目標の設定、その目標達成手段の定義を通じて企業を支援します。

EiQ は、企業が工場ベースの GHG 排出データを収集することを可能にします。

LRQA のツールは、世界のサプライチェーンで利用されているほぼすべての燃料を表す 23 の一次エネルギータイプに対応しています

サブカテゴリーは、石炭、バイオディーゼル、ガソリンの消費を、無煙炭やエタノールガソリンなど、より細かいオプションにさらに細分化し、正確な消費エネルギーの測定を可能にします。

購入 エネルギー	電気	購入電力（オングリッド）		購入再生可能エネルギー（オフグリッド）		
	その他の 購入 エネルギー	蒸気（購入分）	火力（購入分）	冷水（購入分）	地熱（購入分）	
オンサイト型 燃焼 エネルギー	固形燃料	石炭	バイオマス木材	バイオマス全般		
	液体燃料	ディーゼル	ガソリン	燃料油	プロパン	
		LPG	LNG	バイオディーゼル		
	ガス燃料	天然ガス	バイオガス			
自家発電による 再生可能エネルギー		太陽光発電	風力	太陽熱	小水力	水力

デューデリジェンス・チェックリスト：
コーポレート・サステナビリティ・デューデリジェンス指令（CSDDD）

人権および環境デューデリジェンスについて公に報告した



義務

企業は、CSDDD における義務について公に報告することが求められます。
* 注：CSRD に従って報告する企業は、新たなレポート書式を作成する必要はありません。

LRQA のサポート

LRQA のアドバイザリーサービス

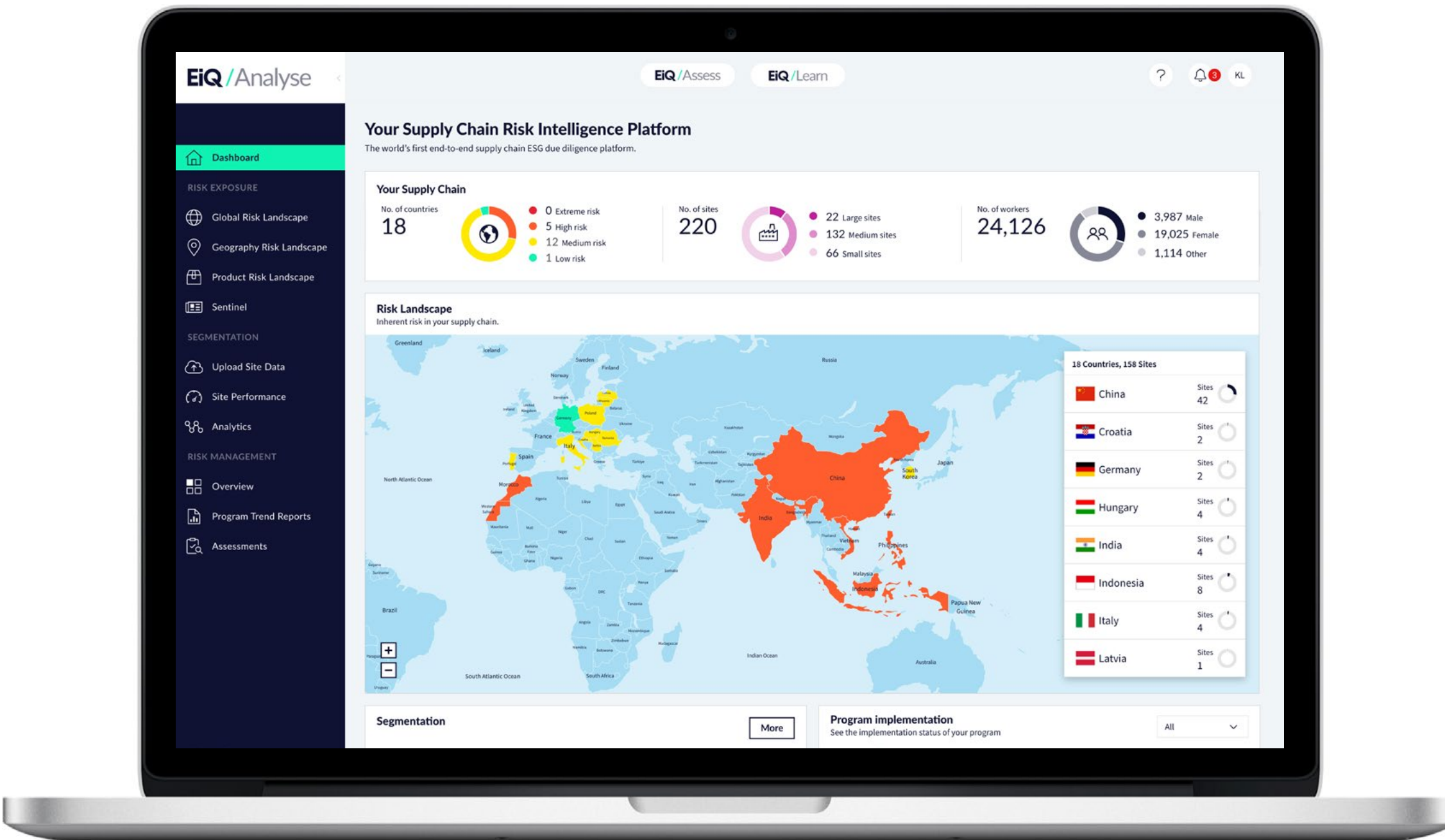
- ダブルマテリアリティ評価
- データ収集計画
- CSRD に沿ったレポート作成
- レポート発行までの承認・監査プロセスにおけるサポート

EiQ ソリューション

- プログラムのベンチマーキング
- サプライヤー・スコアカード
- Sentinel レポート

LRQA のプラットフォームは、以下によって ESG レポーティングとベンチマーキングを最適化します。

- サイロ化されたソースを統合システムに組み込む集中データ統合
- ほぼリアルタイムに更新される、レポート要件に合わせた主要指標の動的可視化
- 年間 2 万件以上の現場監査の強固なデータベースとの強力なベンチマーク比較



EiQ について



EiQ は、ESG（環境・社会・ガバナンス）リスク管理および軽減プロセスのあらゆる段階でお客様をサポートする、優れたサプライチェーンデューデリジェンス・ソフトウェアです。このプラットフォームは、グローバルサプライチェーンにおける重大な人権リスクと環境リスクを特定、是正するために必要なソリューションを提供することで、企業が安心して事業を展開できるよう支援します。EiQ は、個々のサプライヤーのリスク分析から、調達国や商品の ESG リスクスコアの作成まで、エンド・ツー・エンドのデューデリジェンスをサポートします。

EiQ を利用することで、企業は綿密なリスク分析、ベンチマーク、レポート機能、好ましくないメディアに関するアラート、セグメンテーション・ソリューションを利用し、サプライチェーンの健全性を継続的にモニタリングすることができます。EiQ は、個々のサプライヤーのリスク分析から、調達国や商品に対する ESG リスクスコアの算出まで、包括的なデューデリジェンスを支援します。

EiQ プラットフォームの無料デモをリクエストする →

7,500 万以上の 監査データポイント

監査データ

年間 25,000 件以上の監査
監査ごとに 300 以上のデータポイント
10 年以上の監査歴

労働者の視点

苦情処理メカニズム 月 6,000 件以上
年間 3,000 件以上の労働者調査

e ラーニングデータ

100 万以上のコース修了

50 万以上の インデックス値

分析データ

50 以上のサプライチェーン指標 | 200 以上の地域
20 以上の主要セクター | 400 以上の製品とサービス
20 万以上の団体が有害メディアスキャンの対象

25 万以上の 企業・団体

企業スコアカード

500 以上の多国籍企業

ベンダー・スコアカード

15,000 社以上のベンダー・プロフィール

拠点スコアカード

5 万以上のユニークな工場と農場



LRQAについて：

LRQAは、データ駆動型の知見に裏打ちされた、評価、コンサルティング、検査、サイバーセキュリティサービスにおける数十年にわたる比類のない専門知識を結集し、お客様がリスクの新時代を切り開くのを支援する、世界有数の保証パートナーです。

160カ国以上で事業を展開し、6,000人以上のスタッフを擁するLRQAでは、定評あるコンプライアンス、サプライチェーン、サイバーセキュリティ、ESGの専門家が、世界各地のほぼ全ての業種にわたる61,000社を超えるお客様のリスクの予測、軽減、管理を支援しています。

LRQAは、従業員、お客様、コミュニティ、そして地球のためにより良い未来を形作ることに全力を注いでいます。

お問い合わせ

詳細については、<https://www.lrqa.com/ja-jp/> をご覧ください。



LRQA リミテッド

〒 220-6010

横浜市西区みなとみらい 2-3-1

クイーンズタワー A10 階

提供されるすべての情報が正確かつ最新であるよう注意を払っておりますが、情報の不正確性や変更について LRQA は責任を負いません。

